

軍秘

自昭和十九年八月三十一日
至昭和十九年八月三十一日

8/15

第二十三特別根據地隊戰時日誌

八月八日提出

第三十三特別根據地隊
司令部印

第二十三特別根據地隊戰時日誌

海軍功績調査部長殿

第二十三特別根據地隊

0166

目次

- 一 経過
 - 二 人員ノ現状
 - 三 令達報告等
 - 四 参考
 - 五 作戰経過概要
 - 六 添附書類
 - 七 「ゲンダリー」分遣隊戦時日誌 (別冊第一)
 - 八 「ポマラ」分遣隊戦時日誌 (別冊第二)
 - 九 「メナド」分遣隊戦時日誌 (別冊第三)
- (目次終)

0167

自昭和十九年八月一日 第三十三特別根據地隊戦時日誌
 至昭和十九年八月三十一日

一 経過

(1) 敵情

八月三十一日三時三十分ヲ基地トセル相當大規模ノ進攻作戰ヲ開始スルノ算極メテ大ナリ蓋シビアク島方面航空兵カハ遂次増強セラレ同島基地航空機ノ出現状況ハ連日活潑ナリ同島北岸ニ於テ測定セル艦艇ハ八月下旬其ノ数ヲ増大シ遂次増強ノ一途ヲ辿リツツアリ之等ハ概ネ西進状況ヲ示セリ
 尚八月中旬以降ミミチオ南方海域ハルマヘラメナド近海要地偵察活潑ナリ
 在ル諸島方面於ケル空襲ハ停滯ノ状況ニ在ルモモロタイハルマヘラ方面ニ対スル爆撃ハ漸次熾烈ノ度ヲ加ヘ殊ニ八月ニ入りテハ大型機ニ依ル大規模空襲ヲ及
 覆企圖スルニ到レリ就中メナド方面ニ於テハ頻繁ナル偵察ト呼應シ海上輸送
 補給機関ノ覆滅ニ攻撃自標ヲ指シツツ特ニ端末基地トシテ使用ノビートン
 メナド港ニ対スル執拗ナル及覆爆撃ヲ續行シツツ漸次大規模爆撃ヲ移行セン
 トスル算極メテ大ナルメナドセレバ近海ニ於ケル敵艦ノ行動モ依然活潑ニ補
 給輸送線ノ妨害遂断ヲ企圖シツツアリ

(2) 友軍情況

三一ギヤリ方面ニ在リ、後方輸送補給ノ逼迫セル悪條件下ニ在リテ、克ク敵ノ及攻企圖ヲ撃碎シツマリ、當部隊ニ於テハ警備地区防衛資源帯擁護及後方運糧補給基地トシテノ任務完遂ニ努メ、海上護衛ニ萬全ヲ期スルト共ニ戦力ノ急速向上ヲ期シツマリ、特ニ北、セ、ハ、ス、地、区、爆、撃、ヲ、漸、ク、熾、烈、化、ス、ラ、ン、ト、ス、ル、情、勢、ニ、應、ジ、特、ニ、海、岸、防、禦、海、上、交、通、保、護、補、給、路、擁、護、等、ニ、邀、撃、ヲ、能、勢、力、ヲ、着、着、整、備、シ、ツ、マ、リ、

(ハ) 任務編制及配備

(一) 主要任務

機密東部部隊命令作第五號第六號第七號ニ依ル

(二) 編制及配備

機密第三警備部隊命令作第一號及第二十三特別根據地隊並ニ分遣隊編制配備ニ依ル(附表)

附表

マカツナル本隊(八月三十一日現在)

編		制		裝		備		配		備	
司令部	部	隊	士	官	准	士	官	下	官	大	計
(第一)	(第二)	(第三)	(第四)	(第五)	(第六)	(第七)	(第八)	(第九)	(第十)	(第十一)	(第十二)
一六五	一八四										

自昭和十九年九月一日 第三十三特別根據地隊戰時日誌
至昭和十九年九月三十日

一、経過

(1) 敵情

西北部、ニギニヤ方面ニ増強中、敵ハ同方面ノ航空基地群ノ強化ト相俟ツテ海上補給基地ノ増勢ト大輸送船團ノ集合ヲ完了ス遂ニ九月上旬「ハル」地区、モロタイ島方面ニ上陸ヲ敢行セリ。一方我カ同方面末端補給基地、メナド地区ニ対シテ益々空襲ヲ激化セリ。特ニ九月六日、B29大編隊ノ晝間空襲ニ引續キ、メナド市、ビートン港、ゴントロ港、マパンゲ、ランゲアン、アマラン各基地ニ對シ殆ド壊滅ヲ企圖セル連續的空襲ヲ實施セリ。濠洲方面ヨリスル反攻ハ特ニ見ルベキモノ無キモ依然、ポートダーウインヲ基地トシ微温的空襲ニ依ル「ケンダリー」「マカッサル」基地群ノ制圧ヲ實施シツツアリ

(2) 友軍ノ状況

○ 九月一日附ヲ以テ「メナド」分遣隊ハ第四南遣艦隊ニ艦隊区分ノ変更替及九月十日附ヲ以テ第三十四根據地隊解隊、第三十三特別根據地隊ニ編入セラル從而北「セレバス」地区ハ當隊ノ指揮ヲ離レ濠洲北部隊ノ指揮下ニ入ル新「小」スグダ

列島ノ重要部面ハ當隊之ガ擔任ニ當リ北濠洲印度洋ヨリスル敵及攻ノ真
正面ニ其ノ防塞ヲ隔スルニ至リ

(二) 敵狀ニ應ジ嚴重警戒ヲ要スベキ、メナド、地区ニ於テハ味方航空兵力ノ僅少ニ
依リ甚シク戰勢不利ナル狀況下益陸上邀撃態勢ノ強化ヲ圖リシツアリ
特ニ陸軍北セレス警備隊ノ急速増強ニ相俟テ之ノ連繫緊密ニ依ル
協同防衛ノ萬全ニ邁進シツアリ

(三) 敵潛ハセレス近海ニ於ケル活潑化ニ伴ヒ特ニサラヤル海峡、トリトリ、沖、ケネダリ
方面海上補給ハ敵潛敵機ノ跳梁ニ依リ益至難トナル傾向ニアリ

(四) 南部、セレス東部、セレス方面陸上邀撃態勢ハ著々強化セラレ特ニ
通信中樞據点ノ策定ヲ了シ之ガ工作完成ニ努力ヲ傾注シ其ノ進捗見ルベ
キモノアリ

(ハ) 任務編割及配備

(一) 主要任務

機密東印部隊命令作第五號第六號第一〇號ニ依ル

(二) 編割及配備

機密第三警備部隊命令作第一號及第十三特別根據地隊並ニ分遣隊
編割配備ニ依ル(附表)

86.

77

十九、九

日名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
船名	第八號	長良丸	第一號	第二號	研海丸	旭櫻丸	第三號	第三號	第三號																					
航路	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
船種	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
航向	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊
機體	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊	警泊

(本) 麾下及附屬艦艇行動所在

没火口反沈
没火口反沈

89月

10

九月一日附ヲ以テ北部セレバス。部隊濠北部隊ニ軍隊区分編入ニ伴ヒ同地区
 當隊ノ指揮下ヲ離レタリト雖モ從來ノ緊密ナル連繫ハ不即不離ノ状況下ニ
 在リ當隊ハ北部セレバスノ戰勢ニ應ジ愈敷上陸ニ對シテ之ガ激撃帶ノ
 急速完成ハ曠月ノ急下言フハク軍民ノ致協力益之ガ急速完成ニ當リツツリ
 特ニコソリノ方面通信據点ノ完成「ケダリ」方面陸上防備ノ強化「ポマラ」重要
 資源帶ノ防備進捗度ハ見ルベキモノアリ

(ハ) 任務編制及配備

(一) 主要任務

機密東印部隊命令作第五號第六號第一〇號ニ依ル

(二) 編制及配備

機密第三警備部隊命令作第一號及第二十三特別根據地隊並ニ分遣隊編
 制配備ニ依ル(附表)
 マカッサル本隊(十月三十日現在)

部	隊	編	制			裝	備	配	備
	司令	官	准士官	下士官	計				
由務科	五	四	三	三・七	(五三)				

別表第三

十月中敵機来襲状況

月日時刻	場所	機種	機数	記
一〇、二〇〇二〇	ライカン沖	四発	二	ライカン沖約三ノ軒海面ヲ約一時間ニ亘リ旋回後南東ニ去ル
〇〇、四七	マカツサル	双発	二	マカツサル港沖ヲ約三ノ分間旋回機雷敷設後南東ニ去ル
〇〇、〇三〇 〇一、一〇	ケンダリ	四行艇	一一	上空旋回後南東ニ去ル戦果被害ナシ
〇九、三〇	"	P. 38	二	偵察
二一、三七	マカツサル	日 24	二五	單機又ハ二三機ノ編隊ヲ南カヨリ侵入高度ニ、三〇〇ニテ及覆爆撃午後〇〇、六南東ニ去ル
一〇、二七	"	日 29	一	高度約五〇〇ニ侵入偵察後一〇、三九「リンブン」上空旋回偵察後南東ニ去ル
一一、一五	ケンダリ	双発	一	偵察(機種「モスキート」ノ疑アリ)
二、三、二五	マカツサル	?	五	マカツサル半島南岸ヲ偵察後四日〇〇、四三南カヨリ去ル戦果被害ナシ
二、三、四〇	"	双発 P. 38 Y	三	マカツサル半島南ヲ偵察後五日〇〇、三七南方ニ去ル戦果被害ナシ
一〇、〇八	ケンダリ方面	四発	二七	4ノ島タンヲ上空旋回後「マンバヤ」上空ニテ投擲(一〇、五八北東ニ去ル)

記

事

17

9

0177

一五	二一三五	南部セルベス	9	9	各地上空高度を旋回後二面。東方へ去ル。内ハ機ハセルベス海面上に機雷三個敷設セルモノ如シ
"	二三三〇	マカツサル	双祭	二	機雷敷設ノ行動ヲセルモノハ一機ヲ撃墜シ他一機ハ三五五東南方ニ逃走セリ
"	一〇四一	ポマラ	四祭	六	第一基地ニ投弾地上砲塔依リ撃退 戦果ナシ
一四	〇〇八	パレパレ	9	一	上空約一五分間旋回後南方へ去ル
一三	〇〇一六	マカツサル	双祭	三	マカツサル港内ニ機雷敷設後。二。四。南東ニ去ル 戦果報告ナシ
"	一八五〇	"	9	一	白オオカ海峽上空旋回偵察後南東ニ去ル
一二	〇九二三	カガク方面	P四 38祭	一八	P四ニ機ガエンリ上空偵察。四祭。アンベシヤ。飛行場附近ニ投弾後南東ニ去ル
一一	二三三〇	"	双祭	三	内ニ機マカツサル港内ニ機雷四個(推定)敷設 他一機ハマカツサル附近海上旋回後南東ニ去ル
一〇	〇九三五	マカツサル	四祭	一	偵察後一。四。南東ニ去ル
九	〇九二五	クーパン	〇	二四	高度五〇〇。ニテ未報投弾(二。四。祭) 戦果撃墜一機
六	〇三三五	マカツサル	B 24	二〇	偵察後一。三。機ハ小隊ヲ以テ侵入北機橋倉庫地内海面ニ投弾(焼夷弾多数ヲ含ム)後。五。一。南東ニ去ル
五	一一一〇	マカツサル方面	P 38祭	六	マカツサル半島南岸一帯ヲ偵察(海上ト連絡ノ線アリ) 後南東ニ去ル(〇。二。七)

0178

90.

二六	二二〇 二二一 二二二	マカッサル半島	四発	二七	東部より侵入の意あり。海上及び市街地を攻撃し、機銃及傳單多数を撒布。東部を陸軍機が追進し機銃攻撃（不確實）を繰り返す。
一八	二三四五	マカッサル半島	双発	二	マカッサル港外上空高度一五〇〇に旋回後十九日〇〇一九 東南に消滅
一九	二〇五五 二〇五五	マカッサル半島	四発	二一	内二機は機銃九機ハマカッサル北方に旋回セル 友軍機は敵機を撃墜する為南東に去ル
二〇	二二四五	マカッサル半島	四発	一	旋回後機雷ラキモノ二個投下シ去ル
二一	二四五〇 二四五〇	マカッサル半島	〃	二四	海岸沿上空旋回後二日〇三〇南東に去ル 東部より侵入旋回後マカッサルに投弾一二四五南東 方に去ル
二二	二四四五	ビラ、沖	〃	一	対潜掃蕩中交戦（二五撃退（研海丸））
二三	二〇二〇	マカッサル半島	四発	一八	ライオン、リンガン飛行場及マカッサル市に銃撃事後 一〇五〇南東に去ル
二四	二〇〇〇	マカッサル	双発	八	エンジンマシ、リポート、未撃投弾機銃掃射 マカッサル港上空侵入港内ニ機雷敷設後〇二四五南 東に去ル
二五	二〇四二	マカッサル半島	四発	一	マカッサル半島南部に未撃投弾機銃掃射 荷役中、船舶に低空銃撃後南方に去ル
二六	二〇四五	マカッサル半島	四発	一八	滑走路附近に投弾、戦果ナシ
二七	二〇三〇	マカッサル半島	四発	一	海岸附近に爆弾焼夷弾投下東方に去ル

10

0179

二七	ハ。五。	カサガハ	四登	三	海岸附近ニ投弾後東南方ニ去ル
二八	ハ。五。	マカッサル	四登	三	約一時間至ニ旋回機雷三個敷設
二九	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三〇	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三一	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三二	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三三	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三四	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三五	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三六	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三七	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三八	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
三九	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四〇	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四一	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四二	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四三	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四四	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四五	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四六	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四七	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四八	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
四九	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル
五〇	ハ。五。	マカッサル	四登	三	機雷三個敷設後東南方ニ去ル

自昭和十九年十一月一日 第二十三特別根據地隊戰時日誌
至昭和十九年十一月三十日

一 経過

(イ) 敵情

パラオ島、ペリニュー島方面ニ未襲シ又機動部隊ノ非島、レイテ、湾方面ノ増援益激化ノ一途ヲ辿リツツアリ、セレベス、北部、バリック、パン方面ハ、モロタイ、ラ基地ニシ連日空襲ヲ續行シアリ、非島決戦、後方補給地ニ対スル後方側面的壊滅ヲ目途トシ南部、セレベスニ対シテハ北濠方面ヨリスル空襲激化特ニ、モロタイ、サトサ、ポロ方面ヨリノ空襲活潑化ハ注目スベキ新現象ナリ敵潜ノ活躍ハ依然トシテ六站基地トシテノ、セレベス島機能喪失ヲ目的トシアルガ如ク、マカツサル海、セレベス海共ニ輕視出来ザル状態ニアリ

(ロ) 友軍ノ状況

味方皇軍ノ非島方面決戦「パラオ、ペリニュー島」奮戦激斗ハ克ク味方他方面部隊ノ作戰ニ時間的餘裕ヲ與フル状況ニ在リ此ノ秋ヲ期シ同方面日夜後方側面ノ協力ニ聲ヲ日ナカントス即「ケンダリー」基地「マカツサル」基地ヲ根據トシテ、モロタイ方面ノ奇襲夜攻撃及対潜掃蕩補給路護衛ニ基ク後方援助決戦中ニ於ケル敵印度洋方面ヨリスル策動事前封殺之ヲ邀撃

1810

0181

態勢ノ急速確立ニ所在航空兵力ト協力シ遺憾無キヲ期シツツアリ

(八) 任務編制及配備

(一) 主要任務

機密東印部隊命令作第五號第六號第一〇號ニ依ル

(二) 編制及配備

機密第三警備部隊命令作第八號及第二十三特別根據地隊並ニ分遣隊

編制配備ニ依ル(附表)

「マカツサル」本隊(十月三十日現在)

水 警 科	境 野 隊	防 空 隊	陸 警 衛 隊	内 務 科	部 隊		計	装 備	配 備
					士 官	准 士官 下 士官			
三	四	六	一四	三	一六	二一六	二二	四 九 四	三 南 部 セ ル ベ ス 一 帯 ニ 防 空 監 視 所 二 ヶ 所 ヲ 配 ス
一	二	三	三	一	一四	三二	二五	九 四	三 南 部 セ ル ベ ス 一 帯 ニ 防 空 監 視 所 二 ヶ 所 ヲ 配 ス

2

部	隊	編	計	裝	備	配	備
本部	士官	准士官	下士官				
陸警衛隊	四		一	七種野戰高射砲	六	八種野戰高射砲	六
陸警衛隊	二		一	二十種野戰機銃	二	二十種野戰機銃	二
陸警衛隊	一		一	二十種野戰機銃	二	二十種野戰機銃	二
防空隊	一		一	九式步兵砲	二	九式步兵砲	二
水警科	二		一	八種迫撃砲	五	八種迫撃砲	五
通信科		三	一	八種高射砲	三	八種高射砲	三
機関科		一	一	四種軍裝機銃	一	四種軍裝機銃	一
醫務科			一	十種軍裝機銃	一	十種軍裝機銃	一
計			七				

ケンダリ 分遣隊 (十一月三十日現在)

港務補給科	二	一	二	二	二	二	二
通信科	三	三	一	一	一	一	一
醫務科	三		二	二	二	二	二
主計科	二	一	一	一	一	一	一
計	五	一	一	一	一	一	一
計	七	一	一	一	一	一	一

其他ハコカツナル
近ノ警備ニ従事

医務科	機用科	通信科	水警科	見張小队	照空小队	指揮小队	砲台	本部	部	隊	士官	准士官	下士官	兵	計	編	制	装	備	配	備
一			一			一	五	一													
五	二〇	二四	二〇	一七	一六	六一	二四〇	二四〇													
六	二〇	二四	二一	一八	一六	六二	二四六	二四六													
				八機高射砲 四機高射砲 七機高射砲			十三機高射砲 十三機高射砲 十三機高射砲														
				二 二 二	二 二 二	二 二 二	一五 四 二	一五 四 二													
				兵其他ハオマラ上空 直新地附近一帯警 備ニ従事			バリヤ岬ニ特設見張所 砲ヲ配ス														
																					其他ハオマラ附近 警備ニ従事

オマラ分遣隊 (十月三十日現在)

計	隊	防	主
二〇	中田隊	野坂隊	計科
一三九七三	五	四	
一〇〇六	四	三二一〇	一一
	二九三	三〇二	一七

0184

92

<p>東部 「セレス」</p>	<p>主隊</p>	<p>区分</p>	<p>(三) 第三十三特別根據地隊麾下兵力部署</p>	<table border="1"> <tr> <td>主計科</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特警隊</td> <td></td> </tr> </table>	主計科		特警隊				
主計科											
特警隊											
<p>東部 「セレス」部隊</p>	<p>23abg</p>	<p>指揮官</p>		<table border="1"> <tr> <td>九</td> <td></td> </tr> </table>	九						
九											
<p>「カンダリ」分遣隊 「ポマラ」分遣隊</p>	<p>fk x6 fsr 934 f8</p> <p>八號掃海艇 長良丸第一昭南丸 第二昭南丸 研海丸 第二〇號 第二二號 特艇 特艇</p>	<p>兵力</p>	<table border="1"> <tr> <td>二</td> <td>一五</td> </tr> <tr> <td>四</td> <td>二</td> </tr> <tr> <td>二〇</td> <td>一五</td> </tr> <tr> <td>四三一</td> <td>二</td> </tr> </table>	二	一五	四	二	二〇	一五	四三一	二
二	一五										
四	二										
二〇	一五										
四三一	二										
<p>東部「セレス」及 中部「セレス」</p>	<p>全区域 「マカッサル」半島及中部「セレス」</p>	<p>警備擔任区域</p>									
<p>一、敵兵力攻撃手段減 三、陸上作戰協力 三、擔任區域防備警戒</p>	<p>一、全般支後 二、敵兵力攻撃手段減 三、海上交通保護 四、補給</p>	<p>主要任務</p>									

0185

部隊	指揮官	第四警備隊	第六警備隊	「スバ」部隊	「スバ」部隊	機動上陸部隊	備考
第三一號駆特艇	第四號	第六號	掃海特務艇	第六警備隊	第二八號駆特艇	第六警備隊	「スバ」部隊
一部	4kg 擔任區域	6kg 擔任區域	6kg 擔任區域	同	同	同	同
四 擔任航空基地及連環補給基地整備	一 敵兵力攻撃削減	二 陸上作戰協力	三 擔任航空基地及連環補給基地整備	同	同	同	同
特	特	特	特	特	特	特	特
司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令
右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破
右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破	右 敵兵力奇襲攻撃予口破

0186

(二) 作戰指導

(一) 十一月二十日正午ヲ以テ、セレベス、ノ陸上直接防衛ニ関シ第三方面軍司令官ノ

指揮下ニ入ル

(二) 陸上作戰

非島方面ノ決戦様相ニ鑑ミ北濠方面及印度洋方面ヨリスル敵反攻ヲ考慮シ
邀撃撃撃ヲ期スル如ク圖上演習ニ基ク各種敵情判断ニ基キ水際魚雷
射場水際防禦陣地ヲイカン、オンライン、セネボンド方面ノ道路橋梁工作ニ依ル
戰車沮止対策野戰陣地ノ構築等之ガ概成ヲ了スルハ域ニ至リタリ
尚通信中樞據点ノ構築ハ殆ド概成ノ域ニマリ現地軍所有兵器ノ寡少ヲ考
慮シ現地代用兵器ノ多量生産計画ヲ樹立下向ヨリ手榴彈迫撃砲ノ多量生
産ニ軍民協力ノ許着手セリ一方皇民義勇軍ノ編制原案ヲ得来月ヲ期シ
テ訓練ニ着手スル狀況ニ在リ

(三) 海上作戰

決戦下ニ於ケル當方面ノ邀撃戰態勢ノ確立ノ爲又ハ決戦方面ニ対スル側面
後方支援ノ爲補給方面ニ相當沿濠化スルノ狀勢ニナルニ拘ラス敵艦ノ跳梁ハ補
給ヲ危機ニ導ク閉頭ニマリ附屬艦艇ハ之ガ封殺ト掃蕩ニ連日奮斗所在
水上機隊ト連脈ノ許本月上旬三隻ノ敵潛艇沈没ノ効ヲ奏シタリ輸送船舶

ニ対シテモ敵潛敵機ニ依ル被害防止ト対空対潜戦斗力、發揮ヲ目的トシテ可能限リ機銃ヲ搭載シ輸送ノ任務ニ邁進シツツアリ特ニ敵P38ノ跳梁ニ対シ対空火器弱態ノ悪条件下相當ノ被害ヲ意トセス日夜補給任務ノ完遂ニ努力シツツアリ敵輸送船團ノ泊地侵入ヲ考慮セル武裝大発、準備水際魚雷発射場ノ設立準備魚雷艇基地ノ予定地等其準備ニ着手一方魚雷落射器魚雷発射器等一部試作ニ着手セリ

④航空作戦

所在味方航空兵力僅少ナルニ乘ジ、ポルトガル、モロタイ、サンサボウロ方面ヨリスル當方面空襲ハ敵機少敵編隊ニ拘ラス空襲ノ發揚効果又輕視出来ザル状態ニアリ少敵機ヲ以テスル邀撃戦、至難水上機隊ノ空襲事前ノ避退敵ノ間隙ニ乘ズルモロタイノ攻撃奇襲奏効等專ラ當方面基地群ノ活躍ハ見ルベキニアリ當隊ニアリテハ之等航空兵力ニ奇襲スルニ防空情報ノ入手速報ヲ以テシツツアルモ此ノ点ニ関シ萬遺憾ナキヲ期シツツアラントス一方敵機空襲ニ対シテハ分散被害局限ノ態勢漸ク整ヒ大拳空襲ニ際會シテモ動セザルノ礎地ヲ確立セリ防空隊ノ術力ハ相當ノ向上ヲ示シ毎回ノ空襲ニ對テ相當ノ戦果ヲ發揚シツツアリ敵戦斗機ノ銃撃ニ依ル船舶ノ防空防禦ニ関シハ防空火器弱體ノ現状ニ即シ防弾板ノ設定等ニ関シ今一段ノ工夫創意アラントス

(五) 其他

謀報網、完備ト相俟ツテ通敵行為、封殺ハ勿論、ト特警関係ノ積極的
宣傳、効果ハ著キモ、アリ戦局多難ニ移行セントセバ、之ニ伴ヒ同隊ノ活躍
又加重イラントスル傾向ニアリ、
築城補助其他先月ト連續シ進捗度著キモ、アリ、

0189

(ホ) 麾下及附属艇、行動所在

日名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇
掃海艇 第八號	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
長良丸	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
昭南丸 第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
昭南丸 第二	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
研海丸	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
旭櫻丸	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
驅特艇 第一號	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
驅特艇 第二號	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
驅特艇 第三號	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
北後丸	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一

別表第一

十一月中敵機来襲状況

月	日	時刻	場所	機種	機数	記
二	一	〇九〇〇	マカツサル	双機	一	偵察
二	一	一三三〇	ラボボ島	四機	一	偵察 戦果被害ナシ
二	一	一八一五	マカツサル島	双機	二	偵察
二	一	二二五一	マカツサル	四機	二	偵察
五	〇	五一一五	オマニ	?	一	偵察
六	一	〇七	ケンダリ	P	二	"
六	一	一四二五	エントデ	?	一	投弾四被銃撃 戦果被害ナシ
六	一	一八〇〇	ワインガップ	双機	一	投弾数十機
七	〇	五〇八	オマラ	?	一	偵察
七	〇	九四二	ケンダリ	P	九	上空通過
八	〇	四三	マカツサル方面	双機	二	三ノス及びリングン飛行場ヲ銃撃
八	〇	四三	ケンダリ	P	二	偵察
八	一	二五	ケンダリ方面	P	六	銃撃

0191

"	"	"	一八	"	"	一七	"	"	"	"	"	"	一六	"	"
一一 一五	一〇 一四	一〇 二〇	〇〇 一四 一五	〇九 五八	〇九 二〇	〇〇 一五	一四 四二 七三	一四 〇七	一三 三〇 六四	一三 二〇 四〇	一一 二六	一〇 〇〇 二〇	〇〇 一四 三九	〇〇 三二 〇二	二二 三一 一四
おレ ワレ	おマ ラ	"	ケ ダリ 方面	おマ ラ	ケ ダリ	マ カツ サル	ケ ダリ 方面	おマ ラ	パ レ パ レ	ケ ダリ 方面	おマ ラ	マ カツ サル 島	ケ ダリ 方面	ケ ダリ	マ カツ サル
田	"	P	P BY	双	"	田	P	P	P B	P	田	B	?	田	B
祭		38	5	祭		祭	38	38	38 24	38	祭	24		祭	24
一	一	二	二	一	一	三	延 八	二	延 五	延 七	六	四	?	一	五
爆 弾 の 焼 夷 弾 多 数 投 下	上 空 通 過	偵 察	銃 爆 撃 す	上 空 通 過	"	旋 回 (投 弾 せ ズ)	"	偵 察	銃 爆 撃 す 戦 果 P B (機 撃 破 (地 上 砲 火 に 依 り)	偵 察 (ア ビ シ ヤ に 銃 撃 す)	"	"	旋 回 (投 弾 せ ズ)	投 弾	旋 回 (投 弾 せ ズ)

10

0193

別表第二
十一月中敵潜水艦出現状況

月日	時刻	位置	量	記	事
二四	一〇三〇	ケダリ方面	P 28	八	偵察(由六機、多索、東海面ヲ銃撃ス)
二五	一〇三〇	クーパー	〇 〇	三	旋回(投弾セズ)
二七	〇九二三	おマラ	〇 〇	一	上空通過
"	"	スリガ湾	大P	一三	旋回(偵察)
"	"	ケダリ方面	P 38	三	投弾(P 38ハ通過)
"	"	おマラ	〇 〇	三	上空通過
"	"	ケダリ方面	"	八	基地及スリガ湾ヲ銃撃
二八	〇七三三	マウメ	四 〇	四	投弾
"	一一三八	ケダリ方面	日 〇	一	投弾
"	一一三五	ケダリ方面	日 〇	一	投弾
二九	一一三五	ケダリ方面	双 〇	一	旋回(偵察)
三〇	一一三五	アンベシヤ	〇 〇	一	投弾 戦果一機撃破
"	一一三五	アンベシヤ	〇 〇	一	投弾 戦果一機撃破(地上砲火)
三一	一一三五	ケダリ方面	〇 〇	一	投弾 戦果一機撃破(地上砲火)
二一	一一三五	ケダリ方面	〇 〇	一	投弾 戦果一機撃破(地上砲火)

0195

二八	〇八四五	ES 六度五分	油絞三所発見ニ隻撃沈確實(水偵)
二六	〇八四五	ES 四度四分	海上敵潜発見 (陸偵)
二三	〇九〇〇	ES 四度四分	敵潜探知 (第一昭南丸)
二二	〇八一五	ES 八度二分	海上敵潜航行中 (パレレ派遣隊)
一四	〇五二〇	ES 八度四分	同 撃退(同)
一三	〇〇四〇	ES 八度四分	同 (七未下派遣隊)
一二	〇二二〇	ES 四度三分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
一一	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
一〇	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇九	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇八	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇七	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇六	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇五	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇四	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇三	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇二	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)
〇一	〇一五〇	ES 五度五分	海上敵潜見二 (七未下派遣隊)

二十三特務根拠地隊第二號ノ三

三月十一日提出

軍極秘

自昭和十九年十二月一日
至昭和十九年十二月三十一日

89

第二十三特別根拠地隊戰時日誌

海軍陸軍部調査部 曼殿

第二十三特別根拠地隊

0197

目次

- 一 経過
 - 二 人員、現狀
 - 三 令達報告等
 - 四 参考
 - 五 作戦経過概要
 - 六 添附書類
 - 七 ゲダリー分遣隊戦時日誌(別冊第一)
 - 八 ホアラ分遣隊戦時日誌(別冊第二)
- (目次終)

0198

自昭和十九年十一月一日 第二十三特別根據地隊戰時日誌
至昭和十九年十二月三十一日

一、経過

(イ) 敵情

レイテ島方面ノ陸上戦ニ於テ著シキ進捗無ク稍焦採新戦局ヲ打開セン
トシタル敵ハ後方セレバス「ボルネオ」島茲ニ北菲方面基地ノ空襲ヲ續行シ菲島
方面味方基地ノ制圧ト相俟ツテ遂ニ十二月十四日敵新攻略部隊ハ「スル」海ヲ通
過「ミンドロ」島ニ上陸セリ「ミンドロ」島上陸後ハ航空基地ノ設定ヲ急ギ北菲
方面制空權ノ完全掌握ニ努メツツアリ「マカッサル」海峡茲ニ「ロンボック」
海峡ニ於テ海上補給遮断ヲ目的トセル敵隻ノ活動ヲ見ルモ一般ニ低調
ニシテ多ク菲島方面作戰ニ協同シタルノ状況ナリ
「マカッサル」「ケレブー」「バリック」方面空襲モ先月ニ比シ著ク低調ナリ

(ロ) 友軍ノ状況

菲島方面「レイテ」島作戰ニ當リテハ友軍ノ戦斗ニ依リ敵進攻地帯セルモ敵制
空權並ニ制海權下ニアル友軍部隊ノ作戰ハ甚シク困難ナル状況ニアリ敵「ミンドロ」
島上陸ニ當リテモ特別攻撃隊ニ依ル及復邀撃ヲ續行シ多大ノ戦果ヲ擧ゲツツア
ル莫量ノ二分勢ナル友軍ノ爾後ノ作戰ハ益奮戦力ヲ要スベク之ガ後方

推進ノ責務ト復側方防衛ノ重責ニアル當隊ハ遂撃學戰備ノ強化ニ努メ
一方海上補給路保護ノ萬全ヲ期シツヤリ

(一) 任務編制及配備

(一) 主要任務

機密京印部隊命令作第三六號茲ニ機密第三南遣艦隊電令作第六〇三號
ニ依ル

(二) 編制及配備

機密第三警備部隊命令作第一八號及第三十三特別根據地隊茲ニ分遣隊編制
配備ニ依ル(附表)

マカツサル本隊(十二月三十一日現在)

防 空 隊	科 防 空 隊	陸 警 衛 隊	内 務 科	司 令 部	部 隊			計	裝 備	配 備
					士 官	准 士 官	下 士 官			
六	一	一四	三	一七	一	二	二六	二五〇		
		三三九六	四一三						七五種高再砲	二四九四
		二四	二五						一〇三〇	一〇三〇

機 肉 科	通 信 科	水 警 科	科 防 空 隊	陸 警 衛 隊	本 部	部 隊	編	計	制	裝 備	配 備
							士 官				
		①二	二	①二	三	三					
一	三			二							
五〇	五六	六八	四三	二二	一一						
五一	五九	①七	四五	①二	一四						
七種野戰高射砲 八種迫撃砲 十二種軍裝機銃 八種迫撃砲 八種高射砲 四種軍裝機銃											
六 一飛行場三防空隊ヲ配シ 七空軍衛ニ當ラン 二二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百											

（兼）六業務ノ略
 ゲンダリ！分遣隊（十二月三十日現在）

計	主計科	医務科	通 信 科	港務補給科	水 警 科	境 野 隊	編	計	制	裝 備	配 備
							士 官				
			①二	①二		四					
五九	三	三	三	二	三						
二一	二	一	六	一	一						
一四七六	八六	五二	一六三	二一	一四九						
①五五六	①九一	五六	①七二	①二四	一五三						
七五種野戰砲 八種迫撃砲 十二種軍裝機銃											
三南部セルビス一帯及東部セルビス一部ニ防空監視所ヲ四所ヲ配ス 四其他ハカワツル附近ノ警備ニ從事											

0201

部	砲	指揮	照空	見張	水警	通	機	医	計	隊	空防	主計	医
本部	砲台	指揮小隊	照空小隊	見張小隊	水警科	通信科	機関科	医務科	計	中田隊	野坂隊	計	医務科
官	五	一			一				一	五	三		一
准官						二			一	四	三		
下官	二四〇	五八	一七	一九	二一	二三	一九		三九八	二八八	二〇九	一	六
計	二四七	五九	一七	一九	二二	二五	一九		一〇八	二九七	二一五	一	七
装	十二種高角砲	十三種高角砲	十三種高角砲	八種高角砲	四種單裝機銃	七種野砲							
備	一五	四	二	二	二	二							
配	砲台ヲ配入	砲台ヲ配入	砲台ヲ配入	砲台ヲ配入	砲台ヲ配入	砲台ヲ配入							
備	三其ノ他ハボマラ上空直衛隊ニ附近一帯ノ警備ニ從事	三其ノ他ハボマラ上空直衛隊ニ附近一帯ノ警備ニ從事	三其ノ他ハボマラ上空直衛隊ニ附近一帯ノ警備ニ從事	三其ノ他ハボマラ上空直衛隊ニ附近一帯ノ警備ニ從事	三其ノ他ハボマラ上空直衛隊ニ附近一帯ノ警備ニ從事	三其ノ他ハボマラ上空直衛隊ニ附近一帯ノ警備ニ從事							


ボマラ分遣隊(十二月三十一日現在)

計	隊	空防	主計	医
一	中田隊	野坂隊	計	医務科
九	五	三		一
一	四	三		
三	二八八	二〇九		六
九	二九七	二一五		七

0202

102

(三)

東部	主隊	區分	第三十三特別根據地隊麾下兵力部署	主計科	
東部	 23009	指揮官		特警隊	
ケブリー分遣隊	FK fsr x 6 4KF	兵力	23009 本隊 第八號掃海艇 長良丸 第一號南丸 第二號南丸 研海丸 旭標丸 第三號掃海特務艇 第二號驅特艇	計	八
東部「セレベス」	一部	警備擔任區域	全 域 マカッサル半島 中部「セレベス」 及北部「セレベス」	四	四二〇
三陸上作戰協力	敵兵力攻撃手段減	主要任務	全般支援 敵兵力攻撃手段減 海上交通保護 補給	四三二	四三二
				一五	一五

3

0203

備考	機動上陸部隊	スバウ部隊	フロレス部隊	スバウ部隊	キール部隊	北部セレベス部隊	セレベス部隊
特令ニ依リ各警備隊ヨリ兵力ヲ指定シ他ニ轉用集中セシムルコトアリ 右兵力ハ目的地到着時ヲ以テ當該指揮官ノ指揮下ニ入ルモノトス	特令		$\begin{matrix} \square \\ 6kg \end{matrix}$	$\begin{matrix} \square \\ 4kg \end{matrix}$	$\begin{matrix} \square \\ 8kg \end{matrix}$	セレベス 指揮官	セレベス 部隊
	機動上陸部隊 編制ニ依ル	6kg ビマ派遣隊	6kg エテ派遣隊	第六警備隊	第四警備隊 第二〇號駆特艇	第八警備隊	ボマラ、分遣隊 第三二號駆特艇
	特令		6kg 擔任區域	4kg 擔任區域	北部、セレベス、大部	及中部、セレベス、一部	
	撃滅			同			三 擔任區域防備警戒 四 擔任航空基地及連環補給基地ノ整備

0204

(二) 作戦指導

(一) 陸上作戦

レイテ島並ニミンドロ島方面ノ陸上戦斗ニ鑑ミ愈々戦局ノ逼迫ヲ豫想セラレ及攻出血ヲ強要スル時機到来ヲ豫期シ各方面防衛ノ急速強化ニ努メツツアリ特ニ後方乃至ハ内地ヨリノ増強不可能ナル今時ニ當リテハ現地資材ノ活用ヲ以テ現地兵器ノ多量生産ヲ目指シ手榴弾点火的等ハ具體的の生産ノ實行ニ移リタリ尚迫撃砲爆彈發射器魚雷發射器ハ略試作ヲ了シ之ガ成果ヲ擧ゲニ至リタリ

(二) 海上作戦

海上補給路ノ確保ハ附屬艦艇ノ連日奮斗ニ依リ支障ナク補給ノ任務ヲ完遂セシメツツアルモ敵潜水艦出現稍不調ニ乗ジ之ガ發見ト連續及復攻撃ノ機ヲ的ヒツツアリ水警關係ニアリテハ魚雷發射器ノ製作ヲ了シ愈々之ガ検討ト襲撃教練ニ着手シツツアリ

(三) 航空作戦

菲島決戦方面ニ於テハ彼我航空機ノ熾烈ハ遂次激化シツツアルモセレバス島及ボルネオ方面ニ対スル空襲ハ前月ニ比シ低調ナリ「メナド」地区ニ

對シテハ依然激化ノ狀況ニアリ 天候雨期ニ伴ヒ夜間空襲モ其汚濁度甚シク不調ナリ

當地在茅田南遣水上機隊ハ當隊海上作戰ニ全幅協力シツアリ

(四) 其ノ他

戰局逼迫ニ伴ヒ且又陸上防衛ニ関シ軍民ハ致協力シテ之ガ萬全ヲ期シ度益皇民義勇軍ノ急速編制並ニ訓練ノ要之有編制ノ原案漸ク成ラントスル狀勢ニアリ

0206

(ホ) 麾下及附属艦艇ノ行動所在

日名	艦艇	行動	備考
一	掃海艇第八號	警	
二	長良丸	警	
三	昭南丸一	警	
四	昭南丸二	警	
五	昭海丸	警	
六	旭櫻丸	警	
七	駆特三號艇	警	
八	駆特二號艇	警	
九	駆特二號艇	警	
一〇	駆特三號艇	警	
一一	陸	警	
一二	陸	警	
一三	陸	警	
一四	陸	警	
一五	陸	警	
一六	陸	警	
一七	陸	警	
一八	陸	警	
一九	陸	警	
二〇	陸	警	
二一	陸	警	
二二	陸	警	
二三	陸	警	
二四	陸	警	
二五	陸	警	
二六	陸	警	
二七	陸	警	
二八	陸	警	
二九	陸	警	
三〇	陸	警	
三一	陸	警	